

かるまい 議会だより

No.190

平成24年7月25日

こころの花を咲かせよう ～人権の花運動～
(小軽米中学校)

6月定例会

- 6月定例会で決まったこと 2～3
- 一般質問は6議員が行いました 4～9
- 議会活動報告 10
- 議会の動き・議長交際費 11
- 編集後記 12

に1億9372万円を追加 補正予算など6議案を可決

委員長報告

全議案ともに全員賛成

松浦満雄特別委員長

平成24年度軽米町一

であった。

般会計補正予算等審査

特別委員会に付託され

た案件は専決処分の承

認2件、二戸地区視聴

覚教育協議会決算の認

定、岩手県後期高齢者

医療広域連合の規約及

び条例の一部改正、一

般会計補正予算の6件

般会計補正予算につい

ては、歳入と歳出を分

けて質疑を受け、歳入

については一般コミュ

ニティ助成事業の募集

方法や、ソフト事業も

対象になるのかなどの

質疑があり、町民の抱

えている課題解決のた

めの助成に努めるとの

答弁があった。

歳出では高速バス関

連や地域活動支援事

業、東日本大震災被災

者支援事業などが話題

となり、高速バスの停

留所については雨や寒

さ対策も考慮するよう

に意見が出された。地

域活動支援事業も町民

から期待の大きい事業

として評価されてお

り、町民の自主的な活

動の支援に今後も務め

てほしいとの意見が出

された。正規職員の保

育士が不足していると

の質問には、晴山保育

園新設の折には正規の

保育士を増やしていく

との答弁だった。また、

有害鳥獣捕獲事業の実

施基準や、ごみゼロへ

向けて特に草刈り後の

処理方法を町民に普及

し、可燃ごみの減量に

努めてほしいなど、委

員からの積極的な意見

も出されるなど、終始

活発な議論審議がされ

た。採決においては、

全議案ともに全員賛成

で可と決した。

第11回（六月）定例会は、6月14

日から22日までの9日間の会期で

開かれました。一般質問（4〜9

ページに掲載）は6議員が登壇し、

町政執行をただしました。一般会

計補正予算など6件が提案され、

すべての議案は、補正予算等審査

特別委員会を設置し、審査の結果、

最終本会議で報告、すべて全員賛

成で、原案のとおり可決し、閉会

しました。

緊急雇用など補正

平成24年度一般会

計補正予算（第1号）

は、1億9372万

円を追加し、総額を

60億5872万円とし

ました。

主な補正内容は、緊

急雇用創出事業など、

条例の改正は、国の

出入国管理に関する特

例法の改正に伴い、手

数料条例の一部を改正

しました。

専決処分の承認は、

地方税法等の一部改正

に伴う町税条例の一部

改正と岩手県市町村職

反対討論

古舘機智男議員

政党助成金導入の5

年後には企業献金を廃

止するというものだっ

た。しかし、企業献金

は現在も残っている。

政党とは、基本政策

に賛同する人々が自発

的に参加・結成し、国

一般会計



今回の補正予算で、ごみ収集車を新たに1台購入します

員互助会の名称変更に伴う職員の給与に関する条例の一部改正の2件でした。

議員発議は、少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書を可決しました。

他に、住民基本台帳法の改正に伴う岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更となりました。また、岩手県二戸地区視聴覚教育協議会の廃止に伴う決算を認定しました。

請願・陳情

採 択

●「芝コートのゲートボール場新設の請願」(請願者・町ゲートボー

●「少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充

蛇口総代区)

●「蛇口地区肉鶏、鶏舎建設予定地の再検討と事業者と協議する場の設定をお願いする請願」(請願者・岩手県たばこ耕作組合軽米町蛇口総代区)

●「町道軽米保育園脇線の道路改良整備の請願」(請願者代表・吉田喜一郎氏)

ル協会)

不 採 択

を求める請願」(請願者・岩手県教職員組合二戸支部長)

●「国民の税金に依存する政党助成金を削減、撤廃し、その財源を国民生活に役立つ施策に使うことを求める請願」(請願者・全日本年金者組合二戸支部委員長) 不採択について、反対、賛成の討論がありました。(下欄)

賛成討論

細谷地多門議員

討論とは、

表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明すること。

民のなかで活動すること、政党の活動資金も、その党を支持する人々の浄財でまかなうべきである。

◆主な補正内容

◎緊急雇用創出事業 2, 204 万円

- ・町有施設等維持管理事業
- ・統計資料デジタル化推進事業
- ・介護人材育成事業
- ・地域マスタープラン推進事業
- ・観光施設誘客促進事業
- ・学校サポーターズ事業

◎災害復興基金事業 1, 009 万円

- ・東日本大震災被災者支援事業
- ・電力確保対策事業(火葬場等)
- ・ほっとの温かプレゼント事業
- ・放射性物質検査設備備品購入

◎一般コミュニティ助成事業 1, 145 万円

- ・軽米秋まつり実行委員会補助金
- ・ゴミ収集車購入費
- ・駒踊り衣装等整備事業
- ・青少年健全育成事業

○地域活動支援事業費補助金 600 万円

○高速バス利用専用駐車場等 93 万円

○ユイコのケアドー事業(3路線) 197 万円

○町道用地発掘調査(軽米高家線) 176 万円

政党助成金は、政党の活動を助成する目的で、法に基づいて公布される。各政党は、政党交付金が国民から徴収された税金であり、その責任を自覚し、国民の信頼にもとることのないように、政党交付金を使用し、使途を報告している。

国政に必要かつ重要な制度である。

前田 泰穂 議員



質問 ①町長が語る子育て日本一の町づくりについて、具体的に今後どう進めていくのか。

②計画を進めるに当たり、グランドデザインが必要ではないか。

町長 ①平成23年度に策定した総合発展計画に沿って具体化してきた。

子どもが生まれる前からの支援体制として、妊婦健診の公費負担の対象に早産予防のための検査を加え、医療機関と連携した支援体制を整えてきた。出

産後は生後4か月までの全戸訪問や乳幼児健診、育児教室などを行っている。

へき地保育園や児童館では今年度から最大午後6時までの保育時間延長を実施しているほか、今まで利用者に負担いただいていたおやつ代を町負担とした。今後、晴山地区に常設保育園を整備する予定である。

幼稚園では今年度から夕方6時までの預かり保育を開始したほか、副食給食の提供も開始している。小学校入学以降とし

問 今後の具体的な施策は

答 幼稚園の預かり保育など

子育て支援

では、軽米小学校の新校舎建設や空き教室を利用した放課後子ども教室の充実などに取り組んでいる。

②現在は総合発展計画に沿って施策を行っている。さらに具体的な計画が必要となった時

に検討していく。

再質問 当町と同じく子育て日本一を目指している島根県の邑南町では、子育て支援のために定住推進課を設置し、若者定住の明確な数値目標を設定してい

た。当町でも職員と一体となって目標に向かっていくべきではないか。

町長 邑南町の取り組みは参考となると思う。具体的な数値目標は必要と思っている。



今年度から幼稚園で副食給食が始まりました

他に、養鶏団地計画について

旧県公舎の利用計画についての質問がありました。

施設案内板

問 緊急避難所への案内板必要では

答 防災計画の見直しとともに検討

質問 ①町内公共施設の案内板が少ないと思うが、増やす計画はあるか。

②名所・旧跡等の案内板の整備状況は。案内板がないところは今後整備していくのか。

③避難所への案内板を設置すべきではないか。

総務課長 ①観光施設

の案内板は35か所、社会体育施設は31か所、学校教育施設は7か所に設置している。案内標識の設置には景観への配慮や、歩行者や車からの見やすさも考慮する必要がある。今後の案内板の新設・増設については、町民の方の意見を踏まえ、国のガイドライン等を参考に検討したい。

②文化財の案内板は6か所、解説板は11か所設置している。

③東日本大震災や平成22年末の大雪を教訓に町の地域防災計画や防災ハンドブックの見直しを進めており、それに合わせて緊急避難所への案内板の設置も検討したい。

再質問 ①町中心部施設の案内板が少ないのではないか。

②新たに整備したテニスコートや武道場の案内板も必要ではないか。

ハートフルスポーツランドの案内板は、古いものには総合運動公園、新しい案内板には総合運動場と表示さ

れている。統一してはどうか。また、町内の

天然記念物への案内板の設置、維持管理が必要と思うがどうか。

総務課長 ①見やすさに配慮し、財政面も考慮して進めたい。

教育次長 ②中央公民

館、図書館、プールの案内板が見づらい状況になっている。案内板がない箇所や不足している箇所については設置を検討する。

他に、畑作振興について

新軽米総合発展計画についての質問がありました。



茶屋 隆 議員



岩手国体の開催に向け案内板が新設された運動場

山本 幸男 議員



質問 ①町内に建設予定の大規模養鶏場について、計画に変更はないか。

②近隣住民への説明会が遅かったのでは。説明会の案内状は事業者と町長の連名となっていた。事業を進めるに当たり、行政、事業者、住民の責任分担を明確にすべきと思うがどうか。

③建設予定地は雪谷川ダムに近い。景観や臭いの心配はないか。

④公害防止協定は締結されているか。

町長 ②林地所有者か

らの同意は得ている。

近隣住民への説明不足は否めないと感じ、事業者の説明会の開催をお願いした。住民の意見を企業に伝え、メリットを最大に、デメリットを最小にしていきたい。

産業振興課長 ①円子・蛇口地区に3団地、上館地区に4団地を建設する計画に変更された。鶏糞処理施設に変更はない。

③周辺の景観と調和したものとなるよう指導していく。臭気については最新の設備により

最小限に抑えられるものと考えている。

④事業が実施された場合の環境への影響等を環境審議会で審議し、その結果を踏まえて締結するもので、現在は未締結である。

問 ダム周辺への建設、問題ないか

答 景観と調和するよう指導していく

養鶏団地

再質問 林地開発の手続きはどこが行っているか。

説明会の案内状は事業者と町長の連名で届き、会場では事業者と町長が並んで答えていた。企業と町の役割を混同しているのではないか。

産業振興課長 林地開発の手続きは事業者が行っており、町は一切関与していない。

町長 町民からの陳情を踏まえ、企業に説明会の開催を要請した。企業と町の役割分担はされているものと考えている。



養鶏団地建設についての説明会

他に、町道舗装の修繕について

配食サービス事業についての質問がありました。

国保税

問 短期保険証の発行をやめる考えは

答 検証の上、有効期間延長を検討

質問 ①国民健康保険

の基本的任務をどのように考えているか。

②国保税が納税者への大きな負担となっているが、どう考えているか。

③盛岡市では短期保険証の発行数が41世帯、軽米は150世帯となっている。滞納者への短期保険証の発行を止める考えはないか。

町民生活課長 ①病氣

やけがをした際に誰でもどこでもいつでも保健医療を受けることができるという国民皆保

險の中核となるもので、国民生活を支える重要な役割を担うものと考えている。

②国保税の負担は制度を支える財源として、また給付と負担の原則

からもご理解をお願いしたい。

③発行機関と納付状況

を検証し、期間延長等の見直しを検討する。

再質問 国保税は国の補助が減ったこともあ

り国民の負担が大き

く、所得の1か月分以上に及んでいる。滞納

世帯が1割に達しているという現状は制度の改善が必要ということ

を示しているのではない

か。短期保険証の問題も含め、命と健康を

守る国保制度にするためにはどうすべきか。

町長 国保制度は国民

皆保険制度の中核として、国民生活を支える

重要な枠割を担っている。しかし、制度発足

当時に比べ、医療費の増加や保険税の負担能力の低い方々の加入割合が増えており、当町でも財政調整基金が枯渇するなど、厳しい財政運営を強いられている。国保制度が抱える

脆弱な財政基盤という構造の問題に関しては、町村会や国保連を通じて是正要望を行うほか、財政基盤強化に向けての国庫負担の拡充要望を行っていく。

他に、子育て環境日本一の施策について

北部広域によるごみ処理についての質問がありました。

国民健康保険		短期
被保険者証	有効期限	平成**年**月**日
記号番号	**-* ** ** *	
氏名	** ** ** *	性別 *
生年月日		昭和**年**月**日
資格取得年月日		昭和**年**月**日
交付年月日		平成**年**月**日
世帯主氏名		
住所	岩手県九戸郡軽米町大字**第**地割 **番地**	
保険者番号	** ** ** *	保険者名 軽米町

国保税を滞納した場合、保険証の代わりに有効期間が2か月の短期保険証を交付しています

古館 機智男 議員



泉山 優 議員



質問 ①平成23年11

月の臨時議会で説明があつた造成計画に変更があつたのか。

②建設予定地内にあつた石碑の内容は。また、石碑と並んで社があつたと記憶しているが、どこかに移動したのか。

③建設予定地から発掘された遺跡の調査結果は。また、発見された遺構、遺物の調査をどのように進めていくのか。

④北東北では貴重な鎌倉時代の遺跡であり、建物群の復元ができれば町おこしの起爆剤と

なるのではないか。

教育次長 ①臨時議会

での説明から大きな変更はない。

②軽米小学校南側の桜山山頂付近にあつた2つの石碑は、工事の支障とならない場所に移転している。着工時には社はなかったが、平成元年に町がこの土地を取得した際に別の場所に移されたと聞いている。

③軽米小学校の建設工事に伴い平成22年に試掘をしたところ、体育館裏から古代・平安時代の「大開遺跡」が、

問 建設予定地の遺跡、調査結果は

答 鎌倉時代の屋敷跡、記録・遺物を保存

小学校建設



発掘された遺跡の現地説明会

小学校南側から鎌倉期の「袖の平遺跡」が発掘された。これまで発掘調査を行い、5月19日に現地説明会を行った。

大開遺跡の調査は昨年度完了したが、袖の平遺跡は当初想定したものより規模が大きく、今年度の調査を継続している。これまで

の調査により鎌倉時代の有力者の屋敷跡と推定され、遺構のほか陶磁器などの遺物も発見されている。

貴重な遺跡であることは認識しているが、土地取得や設計、造成工事等の費用を考慮し、遺構は写真や図面に残し、遺物とともに民俗資料館に展示でき

ればと考えている。

町長 ④学術的に貴重な遺跡であることは認識しているが、当時の文献が乏しく由来や存続年間など不明な点が多く、町おこしの材料としては未知数と考えている。

公共交通

問 免許証返納者への助成制度を

答 先進事例を研究し、管内で協議

質問 ①町長の公約にあるデマンド交通の具体的なイメージと進捗状況は。

②運転免許の返納を考えている高齢者の方々に、何らかの助成制度を設けてはどうか。

町長 ①高齢者等へのドアツードア（自宅から目的地までの送迎）で運行される予約型の

乗り合いタクシーや、

ライダー系統（路線

バス停等において、時

刻を合わせて地域内交

通と乗継を行う方式）

の乗り合いタクシーを

イメージしている。県

の公共交通活性化チー

ムの専門家のアドバイ

スを受け、先進地の事

例を調査しながら検討

する。

②現在は交通確保のた

め、運賃を定額100

円とした町民バスの運

行を行っている。これ

により助成と同様の効

果があるものと考えて

いる。他県では免許証

を返納した証明書を提

示することでタクシー

利用券の交付などを

行っているところもあ

る。

今後は新しい助成制

度を検討し、先進事例

を参考として二戸警察

署や管内市町村と協議

していく。

再質問 住民のドライ

バーが自家用車を使用

して有償で送迎サービ

スを行う「過疎地有償

運送」を導入してはど

うか。NPO法人や社

会福祉法人、商工会、
公益法人などが事業主

体となり、運賃はタク
シーの半額以下に設定
される。

県の事業を活用して
実証試験を行い、デマ
ンド交通の早急な整備
をすべきでは。

総務課長 町民の多様
なニーズを把握しつ
つ、公共交通対策の事
業や先進事例を参考と
し、町の実態に合った
公共交通の在り方を検
討していく。



これまでの高速バスに代わり整備された「八盛号」

松浦満雄 議員

他に、有害鳥獣対策についての質問がありました。

姉妹町議会との交流

音更町新人議員が来町

姉妹町の北海道音更

町議会が5月7日に、

議員視察調査のため、

本町を訪れました。

音更町議会は昨年4

月に改選となり、新し

く3人の議員が初当選
しました。

音更町議会とは、お

互い初当選議員が誕生

すれば訪問し合い、交

流を深めています。後

藤良勝副議長を団長

に、3人の新人議員と

事務局職員の計5人が

来町しました。

初日は、えぞと大自



役場前で音更町議員と記念撮影を行いました



世増ダムを視察見学

然のロマンの森内の音
更町通りを散策し、歴
史民俗資料館を見学し
たあと、本町議員全員
と、お互いの議会運営
について、意見交換を
行いました。

2日目は、町内施設
等を視察しました。

委員会レポート

循環型社会に向けて 産業建設常任委員会調査



家畜の糞を使った発電システム

産業建設常任委員会
(前田泰穂委員長) は、
再生可能エネルギーの
取り組みと農業振興を
学ぶため、7月2日に
栗石町のバイオマスパ
ワーしずくいと、ブ
ランド鶏「南部かし
わ」の農場を見学しま
した。今後、小規模水
力発電施設についても
学んでいく予定です。



庄内町議員と

議会基本条例を学ぶ 議会運営委員会調査

議会運営委員会(泉
山優委員長)は、議会
活性化の取り組みと議
会基本条例を研修する
ため、6月6日に山形
県庄内町、7日に西和
賀町を視察しました。
町議会では、昨年は
香川県宇多津町を視察
しており、今後、基本
条例制定のためにより
議論を活性化していく
予定です。

議会の動き

議会は、定例会や臨時会のほかにもさまざまな活動を行っています。主な動きをお知らせします。

【4月】

▽2日・小中学校新任教職員着任式▽4日・保育園入園式▽5日・中学校入学式▽6日・小学校入学式▽12日・町政調査会幹事会
▽14日・第61回農用1歳馬共進会、第61回農用馬軽米馬匹市場、町大工組合通常総会▽17日・岩手情報文化研究会（盛岡）▽17日・町観光協会総会▽18日・議会報編集委員会▽19日・民生児童委員協議会総会▽23日・議会運営委員会、小軽米地区戦没者合同慰霊祭▽24日・北部地区町村議会議長会総会▽26日・岩手県議会と県民との意見交換会「本音で語ろう県議会」



「春を告げる農用馬共進会」

【5月】

▽5日・森と水とチューリップフェスティバルオープニングセレモニー▽7～8日・音更町議会議員調査
研修受入れ、交流▽9日・町手をつなぐ育成会総会、町PTA連合会総会▽10日・雪



「首都圏生協との交流」

谷川を守る会総会▽11日・寿大学開講式、キャリア教育推進協議会▽12日・首都圏生協との5月交流ツアー▽14日・100才を祝う会▽16日・二戸地区建設協議会総会▽17日・議会報編集委員会調査視察研修（岩泉町）▽18日・町老人クラブ連合会総会▽19日・中学校体育祭▽20日・（株）フレッシュチキン軽米開所式▽22日・県北地区監査委員協議会総会▽23日・折爪岳振興協議会総会、町社会福祉協議会総会▽24日・町商工会通常総会、町交通安全対策協議会▽25日・（株）軽米町産業開発株主総会、町村議会議員研修会（盛岡市）▽26日・小学校運動会▽28日・町防犯協会総会▽29～30日・町村議長・副議長研修会（東京都）▽31日・カシオペア連邦議会議員協議会役員会、町シルバー人材センター定期総会

【6月】

▽2日・花の里かるまい15周年記念式典▽3日・折爪岳植樹祭▽6日・町郷土芸能保存会総会▽6～7日・議会運営委員会調査研修視察（山形県庄内町、西和賀町）▽7日・議会運営委員会▽9日・町ソ

フトテニス協会設立40周年並びに全天候型テニスコート完成を祝う会▽10日・蛇口コミュニティセンター並びに町道道合線落成祝賀会▽11日・国民体育大会岩手県準備委員会第6回総会（盛岡）

▽14～22日・第11回町議会定例会▽18日・議会報編集委員会▽19日・議員全員協議会、産業建設常任委員会
▽20日・総務常任委員会▽



「折爪岳植樹祭」

22日・議員全員協議会、町政調査会、議員研修会▽25日・主要地方道八戸大野線整備促進連絡会総会▽26日・登記促進委員会現地調査▽28日・議会運営委員会、八戸平原総合開発促進協議会総会▽29日・北奥羽開発促進協議会総会、軽米建友会総会

議長交際費を公開します （4月～6月まで）

議長交際費は、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

各団体の総会や式典の会費などが主なものです。

詳しい内容は町のホームページに記載しています。

○お祝い（会費含む）

19件 84,620円

○その他（土産など）

7件 25,340円

未来に残したい軽米の風景①



沢里のオッコ(上館1-29-1)

「オッコ」とは当地方の言葉でイチイを意味します。
 樹齢は推定410年の町内最大のイチイで、幹回りは3.96メートル、
 高さは12メートルに及びます。
 昭和48年に町の天然記念物として指定されました。

○このコーナーでは、軽米町の文化財などを紹介していきます。

編集後記

5月17日、岩泉町を視察しました。

岩泉町では編集委員と事務局が共同で作成し、「読みやすく・わかりやすく・親しまれる」をモットーに、県や全国の議会広報コンクールに何度も入賞しています。

特徴的だったのは、一般質問の紙面構成を質問した議員



研修後、岩泉町の議会報編集委員と

議会報編集委員会

委員長		上 岩 紀 男
副委員長		前 田 泰 穂
委 員	泉 山 優	山 本 幸 男
	細 谷 地 多 門	松 浦 満 雄

ではなく、客観性を高めるためにほかの議員が行っているということでした。また、議決事件の追跡記事や、町民へのインタビューなども行っていました。